

2022年度 施設関係者評価実施報告書

春日こども園

* 評価	5…十分達成されている	4…ほぼ達成されている	3…どちらでもない
	2…取り組まれているが成果が十分でない	1…取り組みが不十分である	

評 価 項 目		関係者 評価
目標	園の目標が日常の教育・保育に反映されているか。	5
説明責任	園に対する様々な情報提供（園だより・口頭説明）が行われているか。	5
人権尊重	常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となる取り組み（関り・配慮）がなされているか。	5
情報保護	個人情報の保護は、適切であったか。	5
地域貢献	地域の行事・会議への参加、地域家庭の子育て支援、地域や関係機関との関りを十分もっているか。	4
苦情対応	意見や苦情に対して、適切な対応ができていますか。	5
保健管理	乳幼児の病気等の情報提供、日常の健康観察や疾病予防のための取り組みがなされているか。	5
安全管理	救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。	5
組織運営	施設・整備の環境や管理、運営は適切になされていたか。	5
環境整備	園内外の清掃、物の整理整頓、清潔で整然とした環境になっているか。 また、季節感を感じられる工夫がなされているか。	5
保育室の 環境	室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されていたか。	5
給食 おやつ	栄養が満たされるだけでなく、食べやすさ・彩り、季節感等様々な配慮がなされていたか。また、発達、アレルギー等個々の体質に合わせて提供できていたか。	5

* 全体評価

コロナ禍の教育・保育となり行事の開催であったり、日々の保育も感染対策を行いながら工夫して行っていた。地域の行事参加は、開催されなかったため行うことができなかったようである。今後の教育・保育も保護者と連携を取りながら子どもが安全で安心して過ごせるような環境整備や運営を行っていくことを望みます。

教育・保育における自己点検・自己評価結果(2022)

春日こども園

項目	内 容	評価・改善策等
及保育 目理 標念	①園の保育理念を理解している。	・園の保育理念・保育目標などは、保育者自身も理解できており 配布物を通して保護者にも周知している。
	②園の保育目標を理解している。	
	③保護者に配布物を通して、保育理念や保育目標を周知している。	
保 育 指 導 課 程 計 画 及 び	①地域の実態や保育者の意向などを考慮して保育課程を作成している。	・地域の実態や子どもの発達状況に配慮して保育の環境整備を行い ながら保育計画を作成している。
	②各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画になっている。	
	③環境構成や素材・用具を適切にかした保育計画になっているか。	
	④園の生活における子どもの発達課程を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し子どもの実態に即した具体的なねらい及び内容を設定している。	
保 育 内 容	①子ども一人ひとりへの理解を受容しようと努めている。	・保育内容も個々の状況を考慮して生活習慣が身につくように 遊びや生活を通して人間関係が育つように配慮している。 ・保育の経験年数が浅い職員は、努力が必要になる。
	②子どもの基本的な生活習慣が身に付くように積極的に活動できるよう環境が 整備されている。	
	③様々な表現活動が体験できるように配慮している。	
	④身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	
	⑤遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。	
保 育 ・ 行 事	①一日の流れ(デイリープログラム等)の検討がされている。	・行事は、状況を見ながら子ども目線の見直しを検討し 行う。 ・保護者にも参加するルールを知らせ協力を促す。
	②行事の種類や実施計画は適切である。	
	③計画・実施・評価・改善の体制がとられている。	
	④保護者の意見を取り入れている。	
健 康 管 理	①健康・安全な生活に習慣や態度を育成するため「園だより」など情報を保護者に 提供している。	・感染性の病気が流行りそうな時は、早めにお便りや 掲示、メール配信などで知らせる。
	②乳幼児の安全確保のために家庭・地域社会、関係機関と連携をはかっている。	
	③感染症などを予防するマニュアルがあることを把握し、それに基づいて実行している。	
給 食 (食 事)	①給食を通して子どもが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している。	・調理員も給食時には、各クラスを回り特に新入園児の 様子を観察するように努める。 ・場合によっては、保護者との懇談にも同席して 園での離乳食の進め方を説明をする。
	②アレルギー疾患などを持つ子に対し主治医からの支持を得て適当な対応を 行っている。(間違いのないように対応している)	
	③子どもの発達に応じた離乳食などの対応を保護者・保育者・栄養士と連携を とって実施している。	
環 境	①園内の清掃がなされ、清潔に保たれ子どもが心地よく過ごせるように配慮し ている。(玩具の消毒など)	・遊具など定期的に消毒をし衛生面に配慮する・ ・安全に生活ができるように保育室の配置を整備したり 季節感が味わえるように保育材料などを準備する。
	②園内外の衛生面・安全面に配慮している。	
	③園内に子どもたちが季節感を味わえるような工夫をしている。	

項目	内 容	評価・改善策等
人権尊重	①子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮している。	・保護者との信頼関係を構築したり、職員間で情報を共有し適切な関りをする。
	②日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、園の意向や連絡事項が正しく伝わるように配慮している。	
	③性差への先入観による固定的な概念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	
子育て支援	①送迎の際の対話や連絡事項の記載などの日常的な情報交換に加えて、別に機会を設けて相談に応じて個別面談を行っている。	・日々の送迎時だけでなく、時間をとって個人懇談を行い保護者とのコミュニケーションをとっていく。 ・保護者が参加する行事などは、早めにお便りなどで知らせる。
	②家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて関係職員で共有されている。	
	③保育者は日常、保護者や子どもの様子に注視し、虐待の予防や早期発見に努めている。	
	④年度当初に年間計画の予定を知らせ、保護者が保育参観の予定を立てやすくしている。	
地域携との連	①地域の関係機関などと連携を深めるようにしている。(育児相談などに際して専門機関と相談や連携ができています。)	・新型コロナウイルス感染症のため、地域のイベントへの参加が難しいため園のことを知ってもらうためホームページなどで知らせたりして園の理解を得ている。 ・職員も地域の一員という意識を持ち、散歩などに行く際は、挨拶などを進んでして、理解を得るようにする。
	②地域のイベントやまつりに参加し、地域の人と交流できる機会をもっている。	
	③ボランティア・体験保育の人々を積極的に受け入れている。	
	④子どもたちの興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流している。	
開かれた園づくり	①地域子育て支援センターとして、園庭や保育室を開放している。	・地域子育て支援センターとして園内だけでなく、地域の子育て世帯にも育児相談を行う。 ・ホームページなどで園の情報を発信する。 ・小学校との交流をする中で相互理解を深める。
	②地域の子どもたち同士、あるいは親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っている。	
	③職員による育児にかかる「子育て相談」は充実している。	
	④園だよりやホームページ等で施設の情報を発信している。	
	⑤参観や保育・授業等に参加するなどして、小学校の教育を理解し交流している。	
危機管理	①避難訓練・交通安全指導を行い、計画に基づいて適切に実施している。	・日頃より緊急時の訓練を行い慌てず対応できるようにする。 ・地域の関係機関とも連携を図り、協力が得られる関係を作る。
	②緊急時、慌てずに対応できるように、医療機関の連絡先を表示している。	
	③乳幼児の安全を図るため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っている。	
守秘義務	①子どもの個別記録は、個人情報保護法に基づき管理している。	・園で知りえた子どもや保護者また、職員間の情報は、外部に漏洩しないように意識を高める。
	②保育業務で知りえた子どもの家庭に関する秘密の保持について、遵守し外部に漏えいしない。	
研外園修の内	①各研修会・講習会へ進んで参加している。	・園内・園外(オンライン)の研修に参加し、自己研鑽に努める。 ・研修等で学んだことを職員同士で共有できるように報告会を行う。
	②研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育成に反映させている。	
組織運営	①係や仕事の分担・役割は適切である。	・園の理念や保育目標を理解し、組織の一員であることを認識し、日ごろより行動をする。 ・各学年ごとなど小集団で話し合いを重ね自分の意見を出しやすい環境を整える。
	②職員相互がそれぞれに全体的立場を理解し、協力や助言を惜しみなく園の運営にかかわっている。	
	③職員自らの意見を言ったり、話し合う機会が定期的に行われている。	